



## 待ちモード No.32

2004年 10月

### 「歯がしみる！ ～知覚過敏について～」

虫歯ではないのに、冷たい飲み物を飲んだり、歯を磨くと、歯がしみることはありませんか？歯周病や加齢により歯肉が下がったり、無理な力での歯ブラシ方法によって歯が削れると、冷たい物や熱い物を口に含んだ時や、歯ブラシの時の刺激が歯の神経に伝わって、しみるような一過性の痛みが生じることがあります。これを**知覚過敏**といいます。

< 歯肉が下がった歯 >



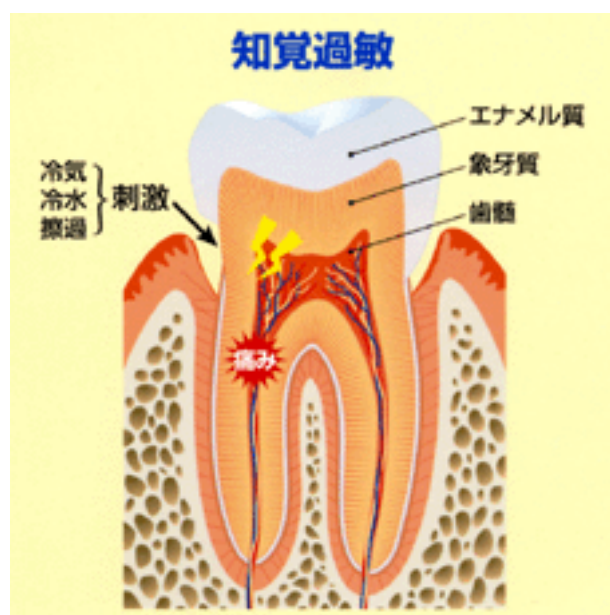
『社団法人 日本歯科医師会』

< ブラッシングなどで削れた歯 >



『社団法人 日本歯科医師会』

- (原因)
- ・ 間違った方法の歯磨き
  - ・ 不十分な歯磨き
  - ・ 硬すぎる歯ブラシの使用
  - ・ 歯周病による歯肉退縮
  - ・ 加齢による歯肉退縮
  - ・ 歯の亀裂・歯折
  - ・ 強い噛み合わせ



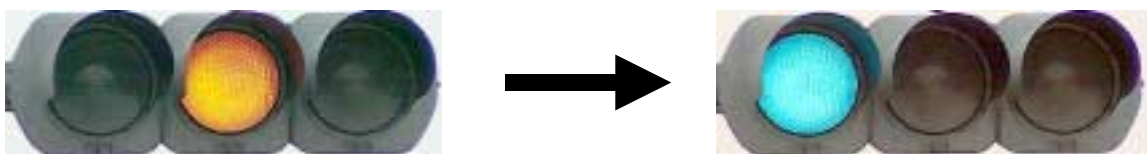
『社団法人 日本歯科医師会』

以上のような原因で、エナメル質の内側の象牙質が剥き出しになり、その結果、冷たい物などの刺激が歯の神経に伝わって、しみるような痛みを感じるのです。

## < 治療 >

- ・正しい歯磨きをする。  
（歯ブラシの当て方や、歯間ブラシのサイズのチェックなど）
- ・知覚過敏を抑える歯磨き粉を使用する。
- ・歯磨き粉の使用量を減らす、または一定期間使用を中止する。
- ・知覚過敏を抑える薬剤を塗布する。
- ・つめものをする。
- ・歯周病の治療を行う。
- ・噛み合わせの治療を行う。

歯がしみるのはお口の健康の黄色信号です。  
虫歯で歯がしみるのか知覚過敏でしみるのか  
わからない場合がありますので、早めに歯科  
医院で適切な処置を受けましょう。



鈴木歯科